木質バイオマス資源の持続的活用による再生可能エネルギー導入計画策定事業
概要説明（熊本県球磨郡山江村）

1．事業概要

事業名	山江村木質バイオマス資源の持続的活用に向けた設備導入計画策定事業
検討対象設備等	木質バイオマスボイラー（薪ボイラー、チップボイラー、ペレットボイラーの検討）
平成３０年度 補助金交付予定額	14,644,000円
事業内容	本事業では、林業ラボ協議会等と連携して川上・川中の情報収集を図るとともに、川下である村唯一の温浴宿泊施設に対して木質バイオマスボイラの導入を検討する。同施設は人吉市等周辺自治体と近接しているため、災害時には温浴施設や宿泊施設を開放することで村民や災害活動要員、事業継続に関わる地域住民等の衛生環境向上に寄与する施設としても期待できる。また、木質バイオマスのガス化技術を活用した木質バイオマス発電設備の導入検討を公共施設又は防災拠点施設にて検討をする。

2．設備導入予定等

設備導入時期	平成30年度　事業化検討（本事業） 平成31年度～平成32年度　システム詳細検討、事業性精査、用地調整　等 平成33年度　設備構築工事、運用開始
CO2削減効果	①温浴施設への木質バイオマスボイラの導入によるCO2排出削減量：429.3t-CO2/年 ②公共施設への木質バイオガス発電の導入（自家消費）：44.2t-CO2/年 CO2削減効果：473.5t-CO2/年（＝①＋②）
生物多様性保全効果	・村内には球磨森林組合をはじめ素材生産者事業者がいくつかあるが、組合員、林業従事者の高齢化等により森林生産が行われておらず、保育・間伐灯の適正な施業および管理が行われていない状況である。また、伐採後に植栽が行われていない森林も増加している。このような状況でシカによる植林木の食害や成木の剥皮被害が顕在化している。 ・山江村には絶滅危惧ＩＡ類のクマイワヘゴが生育している。こうした希少種の保存についても調査、検討を行う。 ・地域が主体となった持続可能な森林経営計画を立案することで、森林を適正に管理し、更新される仕組みが構築され、森林が持つ生物多様性保全効果が期待される。